



プレスリリース
2019年1月29日
福岡ソフトバンクホークス株式会社
PayPay 株式会社

福岡ソフトバンクホークスとPayPay、ヤフオクドームのキャッシュレス化を推進 ～チームスポンサー契約を締結し、キャンペーンも実施予定～

福岡ソフトバンクホークス株式会社（本社：福岡市、代表取締役社長：後藤 芳光）とPayPay株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員CEO：中山 一郎）は共同で、福岡 ヤフオク!ドーム（以下、ヤフオクドーム）のキャッシュレス化を推進します。

また、2019年1月29日、2019年度チームスポンサー契約を締結し、ホークスの選手は「PayPay」ロゴ付きキャップを着用し、リーグ優勝、3年連続の日本一を目指して、オープン戦（セ・リーグビジターは除く）、公式戦（セ・パ交流戦ビジターは除く）および、クライマックスシリーズを戦います。



選手着用キャップ

ヤフオクドームではオープン戦が始まる2019年3月2日から、ドーム内ショップの飲食とグッズ販売、スタンド内飲料販売（売り子販売）、ワゴン販売、スーパーボックス、チケット売りにスマホ決済サービス「PayPay」を導入し、キャッシュレスで観戦をお楽しみいただける環境を構築します。なお、ホークス春季キャンプが開催される宮崎市 生目の杜運動公園においては、「ホークスビレッジ」のグッズ販売コーナーや飲食、物販ブース（※1）でも2月1日から「PayPay」がご利用いただけます。両社は「PayPay」を牽引役として、ヤフオクドームでのキャッシュレス決済の導入を強力に推進し、将来的な完全キャッシュレススタジアムの実現に向けて協同していきます。

ヤフオクドームへの「PayPay」導入に合わせ、PayPay株式会社は今後ヤフオクドーム限定のキャンペーンを実施する予定です。時期や詳細は決まり次第お知らせします。

※1 一部店舗を除く

※ 本プレスリリースに記載されている会社名、屋号および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。